

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
185

2017年6月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一七年五月十二日発行(S S K P通巻六六〇九号)



「通所生活介護外出 羽村チューリップ畑」(日の出舎)

●本年度の聖句

主は人の一歩一歩を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。
主がその手をとらえていてくださる。

(旧約聖書詩篇37編23―24節)

でも、足は丈夫だから

理事長 佐分利 正彦



今年の大相撲春場所は、新横綱稀勢の里の劇的な逆転優勝で終わりました。

1月の初場所ので初優勝し、その後横綱に昇進した稀勢の里は、春場所前の稽古でも好調が伝えられました。そして、春場

所が始まって、他の横綱、大関陣が取りこぼしを重ねる中で、12日目まで一人全勝を守ってきました。

しかし、13日目の横綱日馬富士との取り組みに敗れて土俵下に落ちた際に、左肩を強打してしばらく起き上がれないほどでした。誰が見ても重傷で、翌日からの出場は無理だろうとさえ考えられました。しかし、優勝がかかっていたので、翌日(14日目、対横綱鶴竜)も土俵に上がりましたが、全く勝負になりませんでした。そして千秋楽の大関照ノ富士戦を迎えましたが、完全に予想を覆して、本割と優勝決定戦に稀勢の里は連勝して、連続優勝を飾ったのです。

優勝の翌日のインタビュー番組の中で、稀勢の里はこのように語りました。「確かに左肩を負傷して、左を使ういつもの相撲は取れない(稀勢の里は左四つが得意の型)。でも、足は大丈夫だから、動き回って勝機を探そうと考えた。」その結果、何時もの稀勢の里らしい相撲とはいえないものの、足の動きと右手からのわざで優勝をつかんだのでした。

私自身は、年齢が70代後半に入って、若い頃は難なくできていたこともできないことが次々と増えてきています。例えば、全力で走ることは無理です。それでも、できることもまだたくさん残っている。稀勢の里の言葉と重ね合わせ、できることを長続きさせようと思った次第です。

退任の挨拶

「支えあいと感謝の気持ち」



鈴木 弘士

向夏の候、ます
ます御健勝のこと
とお慶び申し上げます。
日頃は大変

お世話になっております。

さて、私は3月末日をもちまして、世田谷区立岡本福祉作業ホーム施設長を退任致しました。在任中の皆様方から頂きましたあたたかいご指導や激励のお言葉、施設運営へのご理解などに対しまして心から感謝申し上げます。1998年に泉の家より当事業所に異動し、主任時代合わせて19年勤務しました。こうした皆様方のご支援があったからこそ、施設長を勤めることができたと思っております。

在任中は、制度の大きな動きがありました。戦後、日本の福祉制度が整備され福祉の内容も大きく転換し、福祉六法などが整備された措置型福祉の時代から、社会福祉基礎構造改革以降の契

約の時代への移行です。当時は、コンサルタントを導入し、理念の策定、人事制度の構築など経営の時

代に適応できる組織づくりを法人一体となつて取り組みました。また、問題や課題は常に起こるものです。現実を受け入れ、関係者と心を合わせていけば道が開けると信じています。利用者、ご家族、職員、ボランティアや地域の方々から学んだ事は沢山あり、その都度いつも元気をもらいました。今それは、岡本福祉作業ホームの財産となり事業所の風土に大きな影響を与えたと思います。

今後はわずかな時間となりますが、これまで学んできたことを活かしつつ、法人運営に引き続き精進してまいります。後任は、現在福田公英という者が務めさせていただきます。

岡本福祉作業ホーム及び玉堤分場に、変わらぬご指導の程よろしくお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

「福祉施設職員として」



西田 徹

ノーベル賞作家の
パール・バック氏は、
ご自身の知的障がいを持つ娘の母親

として「母よ嘆くなかれ」と題して小説を書いている。「言葉を失い、人との意思疎通に欠くことがあっても人には人の何かがある。そしてその人も人類家族の一員である。彼女もまた人間で、幸福の権利は持つている。彼女にとつての幸せとは、彼女の才能そのまままで生活できることである。」と綴っている。感銘を受け、フランスの詩人ルイ・アラゴン氏の「学ぶとは誠意を胸に刻むこと、教えるとは共に希望を語ること」を自身の理念として、生涯、障がい福祉施設職員として生きて行こうと決意した。20代半ばのことである。

地方の入所施設で働いた。10時間労働、低賃金、奉仕の精神で、休み返上で働いた。利用者との関わりが楽しかった。医療福祉の先頭を歩んでいた、長谷川保氏と日野原先生の生き方に感動した。30代半ば、訳あって東京へ。キリ

スト教を重んじている施設を探した。泉会の門をたたき20数年。施設経営に携わり10数年。経営は人・物・金。しかし、福祉の仕事は人。人間関係の困難さもあるが、私は、利用者やご家族、先輩や同僚、そして地域の方や関係者から多くのことを学んだ。多くの人の支えによつて働くことができた。佐伯元理事長は50年史で「泉会は共に生き共に学ぶ実践の場である。」と語っている。心に沁みる。還暦を迎え施設長を退任することになった。

これからは、再雇用職員として生涯福祉の場で、泉会の理念を基に、先達の想いを継承、発展できるように、今迄学んだ多くのことを活かし、微力ながら関わりたいと思っている。皆様、本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いします。



就労日の出舎 新作業棟竣工

日の出舎本館の竣工は5年前の2012年2月のことでした。

その本館に就労日の出舎の作業場も併設していました。作業場は新しくなったものの、既存の木工作业・受託作業を効果的に展開するには作業場の拡大が必要で、各事業で協力し合つてなんとか作業を続けてきました。利用者からの強い要望もあり、施設長に「新しい作業場を作つて欲しい」と相談を続けてきました。生活介護の定員を増やし、通所の受入を開始する計画等、日の出エリアの事業が拡大してきたこともあり、念願であった就労日の出舎作業場の建設計画がついに立ち上がりました。

入札の結果、設計は新環境設計様、施工は大木建設様に依頼することになりました。大木建設様には2015年にグループホームのぞみも施工して頂いており、法人としても安心して任せることが出来る建設会社です。また新環境設計様におきまして

は、過去にも法人の様々な建物を設計して頂いているとても信頼の厚い設計会社です。

2016年8月、第1回建設定例会を開きました。これは、設計会社、施工会社、施工に関わる関連会社、施工主である泉会の日の出舎の各担当者が集まり情報共有や進捗状況を確認する会議です。1ヶ月に2回定例会を行ってきました。業務の合間の会議で時間を作ることが大変ではありましたが、少しずつ理想が現実になっていくこの時間は私にとつて心地良いものでした。妥協したくないという思いから、大木建設様・新環境設計様には無理難題を押し付けてしまいましたが、そのほとんどを解決して下さいました。

2016年8月19日、起工式を無事終えると、そこから先は決めなければならぬ細かいことが沢山あり、大木建設担当者と毎日のように連絡調整を行いました。徐々に出来上がつてい



就労日の出舎のエリア



就労日の出舎(新)作業棟

く建物を見る度に嬉しさが込み上げてきました。利用者からも「だいぶ形が出来てきたね」「新しい作業場で早く仕事がしたいよ」等の声があり、待ち遠しいのは利用者の方々も一緒でした。2017年3月13日、待ちに待った就労日の出舎作業場の竣工式が執り行われました。当日は天候も良く沢山の方々にご出席頂き、素晴らしい竣工式となりました。

2017年4月3日、就労日の出舎新作業場での作業が始まりました。木工作业室、受託作

業室、ペレット作業室が完備され、種目別に作業ができ、製品の品質管理も行いやすくなりました。また、支援室・レーザ加工室も区分けされたことにより、職員の作業効率の向上も期待されます。

建設に関わって頂きました関係者の皆様方、長期間に渡り工事を見守って頂きました地域の皆様方、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

(加藤 圭介)

法人本部

「地域共生社会の実現に向けて」

社会福祉法人経営改革など、的確に対応し、持続可能な社会福祉法人経営を目指します。

- 1) 事業所がニーズの高いサービスを提供することなどにより利用者からの信頼を得ます。
- 2) 地域における様々な福祉課題にかかわり、多様な関係機関等との連携・共働を図り、公益的な取り組みを推進します。
- 3) 利用者や地域と共に歩むための、様々な情報発信の取り組みを実施します。
- 4) 経営理念、期待する職員像に基づき、トータルな人材マネジメントシステムを再構築します。
- 5) 採用から退職まで職員が一貫して成長できるような魅力ある給与制度、キャリアパス、人事考課制度など人事制度を再構築します。
- 6) 改正社会福祉法に基づいた理事会・評議員会・監事などの組織統治体制を確立します。

今年も、利用者に寄り添ったサービスの提供に向け、本部の機能を発揮した事業運営に努めます。

泉の家

「施設を大切に、消耗品一つまで、きちんと管理し無駄なく使います」

利用者のニーズに沿った支援、利用者の視点に立ったサービスの提供を心がけ、職員の専門性や支援の質を高め、安心・安全なサービスの提供の充実を図ります。大勢の利用者が笑顔で通所してくれる、そんな毎日を目指します。

いずみのうた「絆」を、地域の中で発表できる機会を企画します。

「事業所目標」

「うれしい」と「たのしい」が見える場所

「経営課題・目標」

- 1) 利用者の多様なニーズへの対応
- 2) 権利擁護・人権尊重
- 3) リスクマネジメントの充実
- 4) 地域社会との連携強化
- 5) 将来に繋がる人材育成と定着

岡本福祉作業ホーム

「個人の尊厳に配慮したサービス」

利用者の自己決定と選択を尊重し、その権利擁護を実現するとともに個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスを提供します。

「経営課題・目標」

- 1) 利用者の多様なニーズへの対応
・ ニーズに沿った個別支援計画を策定し支援を行います。
- 2) 権利擁護・人権尊重

玉堤分場

「安心・安全な環境」

岡本福祉作業ホームの分場として開設し25年目を迎えます。本園と共通の課題に取り組み一体的な経営を目指します。

- 1) 利用者への多様なニーズへの対応
・ 利用者一人ひとりの障がい特性

2017年度 事業計画



今年も満足度向上につながる事業を実施します。皆様のご協力をお願いします。

相談支援センターおかもと

「相談支援の更なる充実を目指して」

事業を開始し3年目を迎えます。これまでの実績を踏まえ、利用者が希望する生活を安心して過ごせるよう、相談支援事業を行っていきます。

「経営課題・目標」

- 1) より丁寧な対応をし、サービスの質の向上を目指します。
- 2) 地域のエリア運営会議等で、関係機関や他の事業所への情報

収集や発信を行い、協力体制を築いていきます

- 3) 研修や見学に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めます。
 - 4) 実地検査での指摘や助言をもとに適切なルールで業務を行い、更なる信頼を目指します。
- 今年も利用者・ご家族からの要望を把握し、他機関と連携しながら計画が実施できるよう調整を図っていきます。

日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎 グループホームのぞみ

「常に経営理念に立ち戻り、一人ひとりの人権を尊重する活動」

利用者・地域の福祉ニーズに応えられるよう、事業の実現をめざします。3か年計画に沿った運営により、利用者のサービス向上と地域福祉への貢献、および職員処遇の向上につなげます。

また本年度からは、就労日の出舎の新築建物と就労継続支援B型事業に転用した通所ホームで新しい就労支援の安全体制を運用します。長年に亘って続いた施設整備事業も完了し、権利擁護・防災・防犯・事業継続計画（BCP）・介護技術向上を中心テーマとした新たな事業展開の出発点の年度となります。泉会3か年計画に基づき、昨年度実現できなかった職員処遇

世田谷エリア

改善の制度設計により、競争力のある経営をめざします。

- 1) 日の出舎
利用者の人権を尊重し、個人の尊厳を守り、常に利用者の立場に立った良質かつ安全・安心なサービスを継続的に提供できるようにします。そのため職員の質の向上の推進、体制・しくみを構築します。
- 2) 就労日の出舎
利用者、職員のために安全且つ効率的な作業環境を整え、様々な受注案件に対応し、利用者の作業活動の更なる充実により、技術と工賃の向上に向けて取り組みます。
- 3) 相談日の出舎
更に高い意識の元、真に地域より信頼され、必要とされる事業所をめざします。事務所も別館へ移し、利用者やご家族などが相談に訪れやすい環境を整え、より地域に開かれた事業所づくりを行います。
- 4) グループホームのぞみ
本年度グループホームいずみとの統合により、新たな利用者・職員体制での再出発となります。利用者と職員とで良く考え、話し合い、より良い基礎づくりに努めます。

日の出舎だより

「日の出エリアの自然達」

暖かい日が続き、桜も吹雪の様に舞い、葉桜に衣替えを始めました。日の出舎の花壇にも、チューリップやパンジー、スノードロップなどが咲き競い、通勤の道すらでは、山吹や芍薬も咲いてきました。施設の周りの斜面の緑も色鮮やかになり、つくしも顔を出し、遠くに見える山々も新芽で萌木色になっていきます。



日の出舎の花壇

この季節は利用者さん達との散歩も楽しみです。施設を出発し、長い下り坂をゆつくりと進み、通



葉桜の平井川

りを渡り、役場の裏手の畑の間の道を進むと平井川にぶつかります。この川は季節によって水量がかなり少なくなりますが(上流では、冬場には水が無くなり水無し川になります)小魚も多く、その魚達を狙ってサギやカワセミもやってきます。

この散歩コースは利用者さん達と役場に併設している図書館へ行く時や、帰り道に通ります。良い意味でもとも田舎な日の出エリアは、このように自然豊かな地域です。

(三上 崇)

泉の家だより

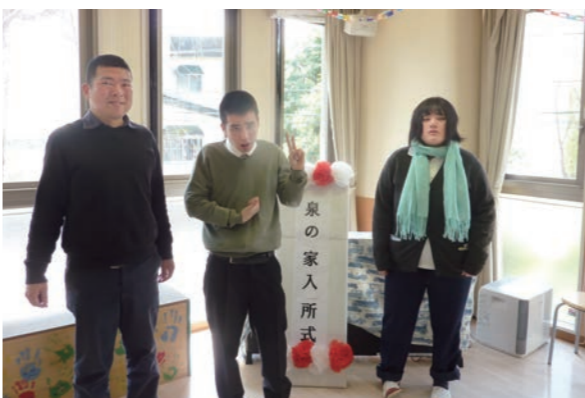
「希望に溢れる

新年度のはじまりです」

新年度を迎えるにあたり、生活介護では活動場所の大幅なレイアウト変更を行いました。より活動に集中できるよう職員間で何度も話し合い、また利用者の意見も取り入れながら変更を行いました。実施後、利用者や家族の方から、前よりも落ち着く、広く感じるなど好評を得ています。

入所式の前日にはみんなで大掃除をし、花飾りや輪飾りを作り、新しい仲間を歓迎する準備をしました。その日の帰りの会で「先輩として困ったことがあったらいろいろと教えてあげてくださいね」とそう話すと「まかせておいて」と言ってくれる利用者もいました。みんな新しい仲間を心待ちにしている様子でした。

そして、桜があと少しで満開になろうとしていた4月3日、入所式と事業計画説明会を行いました。



泉の家の新しい仲間です

(津島 将次)

今年度は生活介護に1名、就労継続B型に2名の計3名の新規利用者を迎えてのスタートとなりました。入所式と事業計画会は、普段の活動や作業とは違う心地良い緊張感の中、新しい利用者や職員が挨拶をしました。ちなみに、泉の家の新しい事業所目標は「うれしい」と「たのしい」が見つかる場所です。泉の家に関わる全ての人に「うれしい」と「たのしい」が見つかる、そんな場所でありたいと思います。

岡本福祉作業ホームだより

「外出活動の振り返り」

いろいろな場所に出かけてみたい。そんなご要望をいただき、岡本福祉作業ホームでは、毎年、小グループでの外出活動を行っています。

どんなところに利用者とお出かけたら喜んでもらう事が出来るか、どのような経路で出掛けるか。企画・行動予定は各職員が考えます。また、旅行は大型バスを利用しますが、半日の外出では普段あまり利用しない電車を使用する場合があります。更に昨年度から宮園バスも交通手段の1つとして利用しています。

昨年度は少し遠出をして大宮鉄道博物館、お台場ヴィーナズフォート、横浜中華街に行ったり、近場では町田スイーツパラダイスや二子玉川109シネマズに行きました。それ以外にも施設間交流行事としてすまいる梅丘の利用者の方々とポッチャ



懐かしの車の前で撮影

対決を行い交流を図りました。外出した際に利用者から「楽しかったよ」「美味しいものが食べられて嬉しかった」と笑顔でお話いただき、外出することの喜びにつなげる支援を今後ともしていきたいと思えます。今年度も外出クラブを行う予定です。施設付きのバスが1台増えた事もあり、昨年度よりも交通手段に融通が利くようになりました。この利点を活かしてより楽しんでいただける企画を考えていきたいと思えます。

(陶山 智憲)

玉堤分場だより

「分場、新年度スタート！」

4月1日土曜日、世田谷線の山下駅近くの総合福祉センターで開催された、「さくらまつり」の販売会で新年度が始まりました。以前、総合福祉センターに通われていた利用者2名が参加されました。各施設の自主生産品や、バザー、イベントコーナーなどがあり、冷たい雨にも関わらず、たくさんの方に来ていただきました。利用者のご家族の応援もあり、心強く感じました。「分場のクッキーは、手作りで本当においしいですよ!」と大きな声で呼びかけている姿は、すがすがしく、嬉しい気持ちになりました。

また、利用者の自治会である「玉堤オールスターズ」の今年度の世話人選挙を行いました。立候補者は6名です。それぞれ、スローガンを考え、写真を撮影し、ポスターを作り、投票を行いました。6名のスローガ



お疲れ様!ハイタッチ

ンを紹介いたします。①ゴーゴー玉堤分場! ②いつもワクワク明るい玉堤分場 ③みんな笑顔になっちゃおう! ④人に優しく、環境にやさしい分場をつくります! ⑤私にできること、皆さんのためにがんばります! ⑥玉堤分場は私におまかせください。皆を笑顔にします! 当選したのは...?

(半澤 恵理)

どの方のことも頼もしく、今年度がたのしみです。

「第8回成城音楽祭」

3月16日(木)午後6時より、成城ホールで実施しました。今回の企画では、東京成城ロータリークラブが、演奏者の出演調整をしました。事前の準備では、チラシ・ポスター・入場券などの作成や区報への掲載などを行いました。



左より、藤岡様・小林様・毛利様

演奏者

- ピアニスト 【小林 五月】
ヴァイオリニスト 【藤原 浜雄】
チェロ 【毛利 伯郎】
- 演奏曲【グリーグ】(叙情小曲集・
「ベートーヴェン」(ピアノ三重奏
曲 第1番)
【ラヴェル】(ピアノ三重奏曲)

演奏終了時には、満席の会場から「ブラボー」の掛け声と大きな拍手があり、会場が一体となり終演しました。



ロビーにて、自主生産品や熊本地震復興応援品の販売をいたしました。

この度の演奏会では、世田谷区とロータリー財団から、後援をいただき実施しました。
ご来場、ご支援を戴いた皆様、演奏者の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。



2017年7月～10月各事業所の予定表

行事	販売会
7月13日(木)～ 一泊旅行(岡本)	7月上旬 七夕祭り(泉の家)
7月20日(木)～8月下旬 夏の工作教室(分場)	7月1日(土) 桜丘子どもまつり(分場)
8月予定 夏の陶芸体験(岡本)	7月1日(土) 砧南中バザー(泉の家)
8月26日(土) 納涼祭(日の出舎)	8月5日(土) 6日(日) 区民まつり(泉の家)
9月2日(土) 施設公開「まるごとおかもと」(岡本)	8月26日(土) 27日(日) 玉堤町会納涼祭(分場)
9月2日(土) 施設公開「Open the Door」(泉の家)	8月29日(日) 日の出スマイルフェスティバル(日の出舎)
10月～12月 アートフェスタ(日の出舎)	9月2日(土) 玉川福祉フェスティバル(分場)
	10月 ぼんぼんぼん祭り(岡本)
	10月 いきいきせたがや文化祭(岡本)
	10月 みなみまつり(岡本)
	10月 尾山台フェスティバル(分場)

予定は変更する可能性があります。行事・販売会については各事業所にお問合せください。

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp
日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org	玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatumi@izumikai.jp
グループホーム のぞみ	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ☎042(533)3609	相談支援センター おかもと	soudan-okamoto@izumikai.jp

編集後記

今年も夏の暑さが近づいてきました。利用者の健康管理に注意し、充実した夏を過ごして頂けるように努めていきたいと思っております。 岡本福祉作業ホーム 真野